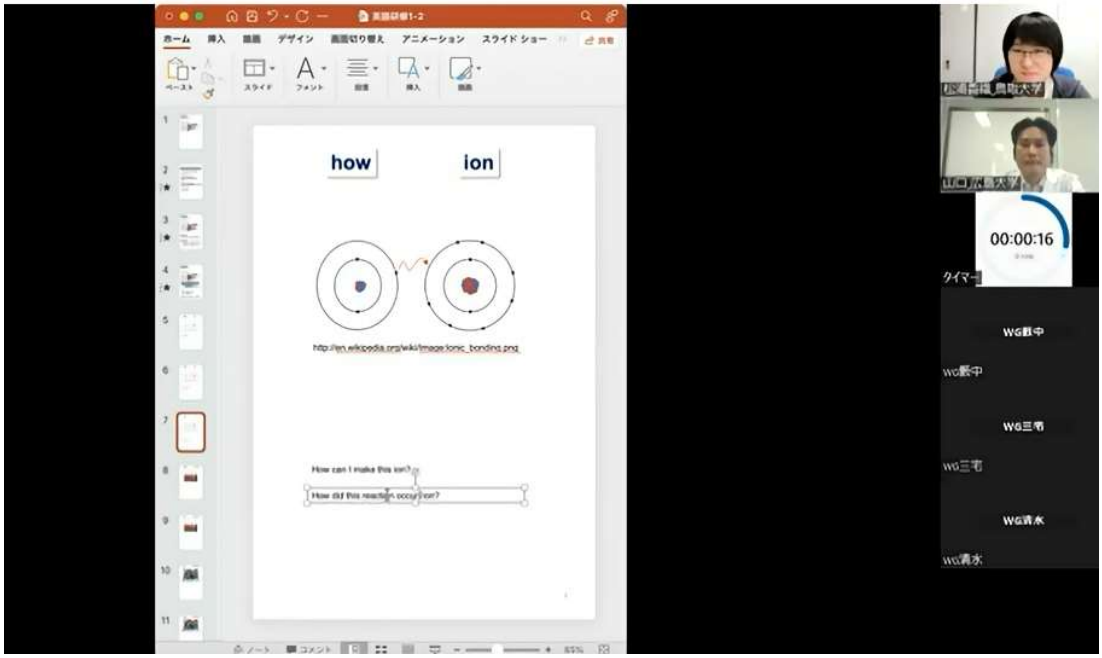
令和５年度　英語研修１（スピーキング）報告書

【開催日時】令和５年　5月　２５　日（木）・２６日（金）
①　２５日　10：00 ～ 11：30
②　２５日　13：30 ～ 15：00
③　２６日　10：00 ～ 11：30
④　２６日　13：30 ～ 15：00
（各回のプログラムは同じ）
【開催場所】WEB（Zoom）
【講師】梅村綾子（名古屋大学博物館　特任助教）
【参加対象者】大学の技術職員、技術支援員（パート、派遣等含む）
【定員】各回３名

【目的】大学や研究機関でのグローバル化に伴い、技術職員が留学生や海外研究者の対応を行なう機会が増している。本研修では、留学生との英語コミュニケーションの練習を中心に行う。
【プログラム】
＜ロールプレイ＞
自身が担当している業務や装置を留学生に説明するという体験的なプログラムを実施。
・自己紹介と当日の目標（5 分）
・ミニ講座（25 分）疑問文をつくろう
疑問詞と名詞（参加者からのキーワード）から、制限時間内にたくさん疑問文を作成するトレーニングを実施
・ロールプレイング（45 分）
・まとめ（15 分）
【事前提出物】
ロールプレイに使用する資料（写真・画像、専門用語の日英対照表）を提出
【参加者】　12 名
【報告】
今年度最初の研修としてスピーキング研修を実施した。4 月に研修のガイダンスを実施した効果か、今回は初めての参加者が多かった。1.5 時間という短い時間であるが、定員 3 名のため、発言の機会を多くすることが出来ていた。ミニ講座では、疑問文を作成するトレーニングを行った。講師の研修の雰囲気づくり、会話への心構えなどの声掛けがあり、英語で話すことに対する壁を下げる工夫が随所にあったことから、参加者同士も和み、話しやすい雰囲気となっていた。ロールプレイは各参加者が装置の説明を留学生にするという設定で実施した。説明する装置は各参加者が決めることが出来たので、実践的な内容となっていた。留学生役は説明

を受けた後、説明についての要約を行う必要があるため、緊張感のある内容の濃い研修となっていた。

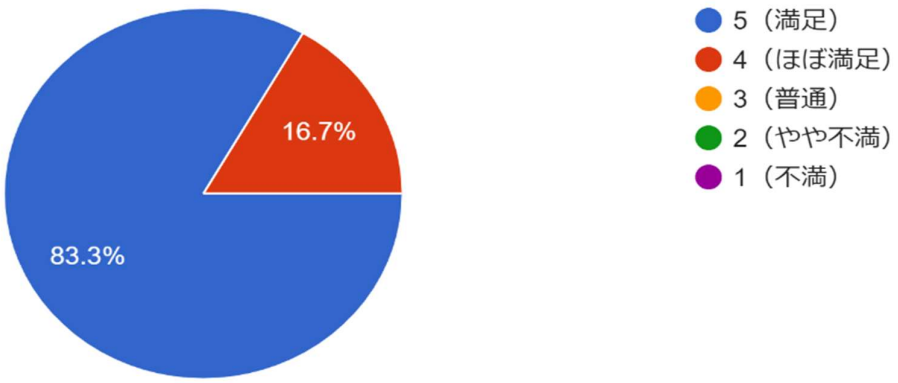
【当日の様子】
ミニ講座



ロールプレイ

【アンケート結果】回答数 12

研修の満足度



研修の良かった点

・先生のおかげで楽しい雰囲気で英会話ができました。
・自信がなく緊張していましたが、relax～！とお声がけ頂いたり、ウォームアップのミニ講座で場を盛り上げて下さったりして、後半は話してみたい！という気持ちで参加することが出来ました。参加者の方も積極的な方が多く、刺激になりました。ありがとうございました。
・装置を英語で説明する、説明を聞くという経験を通じ、改めて装置に関して学びなおすことができたこと、また一つ一つの操作について人に説明できるように考えながら行おうという意識を持つきっかけになったので良かった
・事前予習
・サボれないところ。ロールプレイの、技術員役も留学生役も、最後にまとめを発表するのが容赦ないなぁと思いつつ実践的に力が身に付く方法でとても良いと感じています。
・いつも必死ですが、間違えても大丈夫、みんなで楽しく学習しようの雰囲気があるので安心しながらもがいています。
・それぞれの仕事に関する事項について英語で会話できた。参加者の方の専門が私自身と異なっていたため，新しい専門知識を得ることができた。
・少人数なのでやりやすい
・英語の表現やスピーキングを学べたことは勿論ですが、リラックスした状態で積極的に他機関の方々とコミュニケーションをとれたことがとても良かったと感じます。研修冒頭での目標「失敗を恐れないでどんどん発言する」というところが、これに繋がったと個人的には思っています。ロールプレイでは、留学生役は技術職員役の説明を要約しますが、こ

の課題があることでとても集中できたと思います。一般的な英語研修において、他人の発言を聞き逃してしまうことが良くあり、また聞き逃しても一般的な研修だと会話の内容も基本的なもの（例えばキャンパス内での道聞きや、図書館で本を借りるなど）が多いので内容・解答の予想は何となくついてしまうことがあります。しかしながら本研修は、例えば「試料にマスクをして...」といった専門的なものなので、聞き流してしまっていざ要約しようとすると説明内容・装置扱いの手順を全く理解していない・覚えていないことに気付かされ、これが技術英語の難しさ、醍醐味とも思いました。そして、その点について分かるまで技術的な質問をして理解していくことが、実践的なヒアリング・スピーキングの鍛錬になると感じました。ミニ講座での事前準備も非常に役に立ち、有難かったです。

・リラックスして大変楽しく、英語での会話練習ができた。また、少人数制だったので、自分が話す時間をたくさん作れた。
・実際の装置の使い方についての説明した点が、興味深かったです。
・リラックスを促してくれたこと。大切なのは正確さではなく、会話のキャッチボールと相手に関心を持つことだと要点を教えてもらったこと。
・とにかく英語で話してみようとできたので良かったです。

今回の研修はご自身の業務にどのように役立ちそうですか？

・コミュニケーションのやり方について学んだので、活用したいと思います。
・留学生への装置利用講習の際に役立てそうです。
・目下英語で説明するという機会はないが、施設に外国人の方も出入りしているのでいずれ役に立つかもしれない。
・留学生への説明時
・実際に自分が説明する際のことを想定して説明を考えるので、留学生役の方の反応を見ながら「この説明では伝わりにくかったな」ということも分かりました。
・様々な専門の留学生や外国籍の教員と英語で遣り取りが必要とされている場面で今後役に立つと思います。
・オンラインでの英語を使う場面に慣れる
・留学生役の方からご質問頂いた内容は、おそらく留学生も疑問に思い質問したい/してくるところだと思いますので、そのリハーサルになると思いました。また私は自機関において技術組織の統括管理に従事しており、私にとって他機関の異分野の方々の業務内容は、自機関の異分野職員の業務内容の理解にも繋がり、自身の業務に役立ちそうです。
・今まで自分の英語力を試す機会は少なかったが、今回の研修のおかげで自分の英語力に自信が持てた。
・装置の説明をするときに役に立ちそうです。
・英語で伝える気持ちを自然に持てるようになり、利用者からの問い合わせに誠実に答えら

れるようになりたい。
・今までだと、尻込みしていたことも、話してみることができそうです。

今回の研修の感想・改善点や、今後の技術英語研修に期待することなど

・一度きりの研修ではなく、同じメンバーで 2,3 回研修があるとさらに勉強になるかと思いました。
・自分の英語力のなさを痛感してしまいましたが、勉強して次回も受講したいと思いました。
・受講申し込みを悩んでいましたが、受講してよかったです。ありがとうございました。
・最初はとても緊張したが、楽しかった。今後は専門用語だけでなく、職場関係でよく使いそうな日常会話（お客さんの案内やお茶を出すときとか）とかも学べるといいなと思う
・先日はご指導いただきありがとうございました。今回のテーマに対し研修時間が短かったこと。技術者の専門分野が違うため日本語でもすぐには機器使用について難しかったです。共通テーマの英語の複数の言い回しや不明言語の言い換え等のトレーニングがあると面白いかなと思います。
・「留学生も同じように感じているのかも」という話がとても印象に残りました。
・確かに、自分の知らない装置などのことは日本語で聞いてもよく分からなかったりするので、伝えることにフォーカスするだけでなく、相手がどれくらい理解できているかいないかも目を向けていかねばと思いました。
・自己紹介の際に簡単なプレゼン（名前，出身，部署，趣味など）を行うとテーマに入りやすいと思いました。
・自身が説明したい事のスライドは、自分で共有をかけたほうがやりやすいと思いました。
・また、お題を出されたときに、ちょっと考え込むようなスライドは避けてもらえるとありがたいです。例えば、今回 Lif（フッ化リチウム）のイオン結合を示したような図があり、思わず英語そっちのけで電子数や軌道を数えて元素を確認してしまい、図のものは LiF で合ってる？とか、なぜ一般的なイオン結合の例で使われる NaCl でなく馴染みの無い LiF なのか？LiF であることに意味があるのか？というところに思考が逸れ、英語を考える時間をロストしてしまいました。そのため慌てて「この図で何を説明させたいのでしょうか？」というズレた英語の質問になってしまいました。すみません。
・あと、音声が途切れがちになると聞き取りが難しくなりますので、配信環境はもう少し改善いただけると助かります。
・私の専門分野は、他の方々の分野と比較的離れていたと思います。ですので、もう少し詳しい事前の共有情報があれば、それについて予習でき、技術職員役の方に対して、的を得た質問ができたのでは（頓珍漢な質問をしてしまったかもしれません）と思いながら、逆に今回くらいの事前情報のほうが、研修本番で説明内容を良く聞かねばと集中できて鍛錬になる、とも感じました。とても楽しく貴重な機会を下さり、どうも有り難うございました。今後の研修も期待しております。どうぞ宜しくお願い致します。

・ほかの技術職員の方との交流を深められたことが大変有意義だった。対面での研修もやってみたいと思った。
・自分の説明があまり伝わっていなかったり、質問したいけど英語がわからなくてできなかったりしましたので、もっと勉強が必要だと感じました。
・回を重ねるごとに受講者が話す時間が増していき、最終的に受講者全員の英会話スキルがアップすることを期待します。
・そもそも日本語でも話す内容が思いつかないのは困りました。